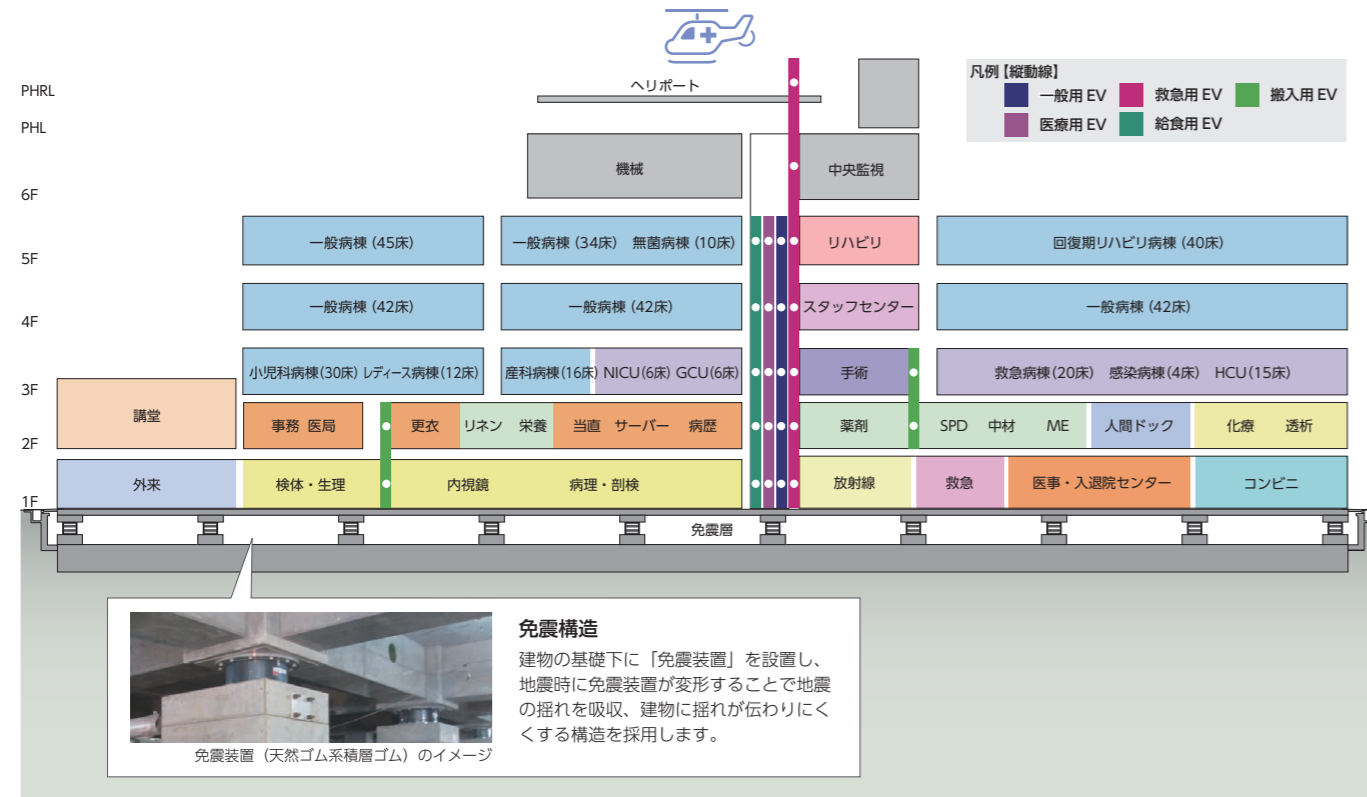


## 断面構成図



## Haga Red Cross Hospital



### 交通アクセス

#### 車をご利用の場合

- 宇都宮中心部より 約40分
- 北関東自動車道真岡ICより 約10分

#### 電車をご利用の場合

- 東京から 約180分  
上野(宇都宮線) - 小山(水戸線) (水戸線に乗り換え) - 下館(真岡鐵道に乗り換え) - 北真岡(駅より徒歩5分)
- 東京から 約130分  
上野(宇都宮線) - 石橋(駅よりタクシーで30分)
- 東京から 約90分  
東京(東北新幹線) - 宇都宮(駅よりタクシーで40分)

### 理念 | 地域に貢献する病院

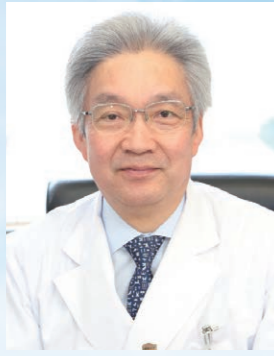
#### 基本方針

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 赤十字の使命に基づいた社会貢献



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

**芳賀赤十字病院**



## 院長 安田 是和

芳賀赤十字病院は1922年(大正11年)に設立された芳賀病院にはじまり、1949年(昭和24年)に現在の日本赤十字社栃木県支部芳賀赤十字病院となりました。当院は真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町の一市四町で構成される県東保健医療圏の中核病院として、また年間4000台を超える救急車を受け入れる唯一の二次救急医療機関としてこれまで地域とともに歩んでまいりました。

当院は急性期医療に対応するのみならず、緊急母胎搬送受け入れや新生児治療を行なう地域周産期母子医療センターが併設され、また栃木県がん治療中核病院

としてがん医療にも力を入れています。2016年には回復期リハビリ病棟を開設し患者さんの在宅復帰支援の向上を目指しており、急速に進む高齢化に向けて認知症疾患医療センターに指定されました。当院は診療のみならず教育も重視し、臨床研修指定病院として若い医師の育成や多職種の学生実習を受け入れ医療者の教育にも取り組んでいます。また赤十字精神(人道・博愛)に基づく病院として、鬼怒川水害や熊本地震では日赤救護班の派遣を行いました。近年病院の老朽化が目立ち災害拠点病院、DMAT指定病院として耐震性の向上が望まれておりましたが、2018年12月に念願の新病院が竣工し2019年3月に移転となりました。今後も「地域に貢献する病院」の理念のもと、芳賀地区の医療の充実に努めます。皆さまのご支援を宜しく申し上げます。

## 病院概要

名称	芳賀赤十字病院
創立	1949年(昭和24年7月1日)
病院長	安田 是和
所在地	〒321-4308 栃木県真岡市中郷271 TEL: 0285-82-2195(代)
病床数	364床 一般:360床(うち回復期リハビリテーション病床:40床)・ 感染症病床:4床
標榜診療科	内科、神経内科、リウマチ科、呼吸器内科、アレルギー科、 消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、 小児外科、形成外科、乳腺科、心臓血管外科、 消化器外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、 眼科、放射線科、麻酔科、救急科、精神科、 歯科、歯科口腔外科

診療機能	救急告示病院、病院群輪番救急病院、 へき地医療拠点病院、エイズ診療拠点病院、 地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、 栃木県脳卒中地域拠点医療機関、 小児救急拠点病院、肝疾患専門医療機関、 栃木県DMAT指定医療機関、DPC対象病院、 地域医療支援病院、第二種感染症指定医療機関、 地域がん診療病院、認知症疾患医療センター、 栃木県障害者高次歯科医療機関、 臨床研修指定病院
診療受付時間	午前8時30分～
休診日	日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)、 創立記念日(7月1日)、毎月第2・第4・第5土曜日
外来駐車場	398台

## 病院の特徴

### 「高齢な方に配慮した「1階ワンフロア外来」

#### 外来診療にかかわる部門を全て1階に集約化!

- 外来診察室と検査及び画像診断など、外来診療にかかわる部門を全て1階に集約し、高齢な方にもわかりやすく、上下移動の少ない外来。

### 「医療の効率化を図る「ワンフロア3看護単位の入院病棟」

#### 患者さんを見守りやすく、すぐに駆けつけられる病棟!

- 関連性の強い部門を同じフロアに配置することで、患者さんやスタッフの上下移動を少なくし医療の効率化を図りました。
- 十字型平面の3看護単位とすることで移動を最短化し、スタッフステーションから見守りやすい病棟。

### 「救急医療の充実、災害拠点病院としての機能強化、がん診療体制の充実

#### 救急病床やヘリポートの設置、災害に強い病院づくり!

- 県東保健医療圏で唯一の二次救急告示病院として現在4,000台を超える救急車を積極的に受け入れています。
- 新病院では、HCU、救急病床、ヘリポートを設置し二次救急病院として救急医療体制を充実。
- 救急専用エレベーターをヘリポートと救急外来、手術室を直結することにより救急医療の充実・迅速化を図りました。
- 災害に強い病院として、免震構造を採用し、被災により受傷された方を受け入れることができる講堂等の設置。災害拠点病院としての役割を果たします。
- 地域がん診療病院、栃木県がん治療中核病院として芳賀地区のがん診療体制の充実を図ります。

## 病院の機能



### 地域完結型医療の構築

芳賀地区の病診連携の強化を図り、回復期リハビリテーション病棟を20床から40床へ増床。最新のCT、MRIを導入。また描出力の優れたマンモグラフィーを備え、診療能力の向上を図りました。



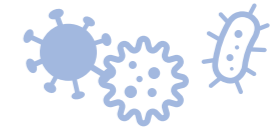
### 周産期医療の充実

医療機器の整備やアメニティの充実を図り、安全・安心な出産の確保、妊産婦に優しい療養環境を整備しました。



### 救急医療・災害拠点病院としての役割

芳賀地区の二次救急医療機関として高度な救急医療を提供。HCUを含めた救急病棟の整備。災害拠点病院として免震構造を採用。施設・設備(ヘリポート・免震構造・講堂)等の機能強化を図りました。



### 感染症医療の対応

県東保健医療圏の第二種感染症指定医療機関として、感染症病床(4床)を設置しています。



航空写真(2018年12月撮影)



エントランス



スタッフステーション